

# 仲間同士でステータスを表示し合う待ち受け i アプリの構築

995048 荻野 健

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1. はじめに

携帯電話の多機能化が進む中、若年層への携帯電話の普及はますます広がりを見せている。若年層の間では「今暇?」「今何してるの?」などと相手のステータスを問う内容の会話が頻繁に交わされている。しかし、相手の都合が合わなければまた別の相手へ同内容の連絡をすると言った形になり手間も通話料金も多くかかってしまう。また、相手が忙しかった場合には相手にとって迷惑になってしまう。

そこで本研究では、親しい仲間同士で互いに自身のステータスを表示し合う待ち受け i アプリを構築し、上述した問題点を解決し携帯電話を用いてのコミュニケーションを円滑にすることを目的とした。

## 2. ツールの構成

本ツールはクライアントとサーバで互いに情報をやり取りしている。携帯電話端末側のクライアントプログラムは NTT ドコモより無償で提供されている iappli Development Kit を用いて構築し、サーバプログラムは JAVA Servlet で構築した。また、各ユーザの名前やステータスなどのデータはデータベースにより管理している。サーバプログラムとデータベースとの連携には、JAVA アプリケーションからデータベースを操作する API である、JDBC を用いた。

本ツールは初回起動時にまず自分の名前とステータスを入力し、次に友達の名前を登録する。すると、登録した友達の名前とステータスを参照出来るようになり、文字による簡易チャットを行うことも出来る。後は随時、自分のステータスを任意に変更したり新たな友達を登録したりして

いく。図 1 に友達リスト画面の例を示す。

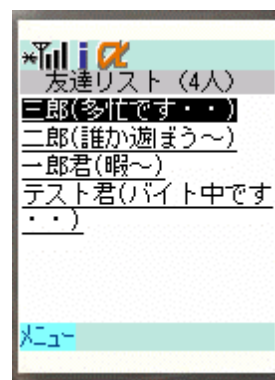


図 1 友達リスト画面

## 3. 評価

本ツールを互いに友人関係にある 4 名の大学生の携帯電話にインストールしてもらい、およそ 2 週間の間試用してもらった。結果、「今までは誰かに連絡しようとした時に、相手がバイト中であるか、起きているかなどを気にすることがあったが、お互いにこのツールを使用していれば解消される」「全体的に操作がわかりやすく、ステータスを変更する作業も手軽に行えてよい」「普通に面白い」などという意見が出された。

## 4. まとめと今後の課題

本ツールを使用することにより携帯電話を用いてのコミュニケーションが以前より気軽に楽しく行えるということが実感できた。

今後の課題としては、現在のバージョンでは友達リストが数十人にまでなったとしても、ひとつの画面で全てを表示する仕様になっているので、友達リストのカテゴリ分け機能を追加したい。また、NTT ドコモ以外の携帯電話用のクライアントプログラムを作成し、本ツールの活用範囲をさらに広げて行きたい。